

おります。

当社は成長戦略の進捗を測る主要な経営指標（KPI）として、看護補助者数を重視しております。

具体的には、2026年12月期において看護補助者48名の純増を計画しております。また、安定的な人材供給体制の構築を通じて医療機関との取引拡大を進めてまいります。

これらの施策により、売上高については2026年12月期1,022百万円を計画しております。また、営業利益については2026年12月期43百万円を計画しております。

さらに、看護補助者という職種に対する社会的認知向上を目的とした情報発信を継続するとともに、教育・研修体制の充実や就業後のフォロー体制の強化を図ることで、人材の安定確保及び定着率向上に取り組んでまいります。

当社は、これらの取り組みを通じて看護補助者の社会的価値向上と医療機関への安定的な人材供給を実現し、医療現場における人材不足という社会課題の解決に貢献するとともに、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

（2） 一般市場への上場目標時期

当社は、TOKYO PRO Market 上場後、事業規模の拡大、収益基盤の強化及び内部管理体制の充実を図り、中長期的には東京証券取引所グロース市場をはじめとする一般市場への上場を目指しております。

なお、一般市場への上場時期につきましては、現時点において未定であります。今後の事業環境、業績推移及び市場環境等を総合的に勘案の上、適切に判断してまいります。

（3） 上場準備スケジュール

当社は、東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場企業として、一般市場への上場に向けた準備を計画的に進めております。

具体的には、事業規模の拡大及び収益基盤の強化を図るとともに、内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス体制のさらなる充実を推進してまいります。また、一般市場上場に必要となる各種社内規程の整備、内部統制の高度化、開示体制の強化及び人材採用・組織体制の拡充を継続的に実施してまいります。

今後は、関係機関と連携しながら、一般市場への上場申請に向けた準備を進め、上場審査基準への適合状況を確認しつつ、適切な時期での上場を目指してまいります。

以上